

科目	体育	学年	第1学年	開講	通年	必修	3単位
----	----	----	------	----	----	----	-----

教科書：「新高等保健体育」大修館書店
 副教材：「新高等保健体育ノート」大修館書店

1.学習の到達目標

各種運動の合理的な実践を通して運動技能を高め、積極的に運動に親しむ資質や能力を育てる。また、健康の保持増進のための育成と体力の向上を図り、公正・協力・責任・参画・貢献・リーダーシップなどの態度を育てるとともに、生涯を通じて継続的に運動ができる資質や能力を育てる。

2.学習計画及び評価方法

- a. 知識技能
- b. 思考・判断・表現
- c. 主体的に学習に取り組む態度

学期	項目	単元	学習内容	学習のねらい	月	考查	評価の観点		
							a	b	c
前期	体育実技	集団行動	姿勢・方向転換・集合・整とん・列の増減・開列・行進・足踏み・礼など	集団として安全に能率よく行動できるようにする。	4 ～ 5	種目ごと実技試験	○	○	○
		体力づくり運動	体ほぐしの運動 体力を高める運動	各種体ほぐしの運動と体力を高める運動を行い、体力の向上を図る。また、自己の体力や生活にに応じて、体ほぐしの行い方と体力の高め方を実践的に工夫することができるようにする。			○	○	○
		新体力テスト	50m走、持久走、ハンドボール投げ、立ち幅跳び、握力、長座体前屈、反復横跳び、上体おこし	身体の動きを総合的に見て、自分の運動の適性を科学的に捉え、体力向上に役立てる。			○	○	○
		陸上競技	競走(短距離・中長距離) 投てき 測定	各種の基礎技能を習得し、グループ走やインターバルトレーニング、測定を通して、自己能力の向上を図る。	○		○	○	
		サッカー(初級) [球技Ⅰ・ゴール型]	基本練習 連携プレー ゲーム練習 実技試験	個人的技能および集団的技能の習得を目指し、チームの課題や自己の能力に応じた課題の解決を目指して、計画的な練習の仕方やゲームの仕方を工夫することができるようにする。	5 ～ 7		○	○	○
	ソフトボール(初級) [球技Ⅱ・ベース型]	○					○	○	
	テニス(初級) [球技Ⅲ・ネット型]	○					○	○	
前期 授業評価							○	○	○
後期	体育実技	サッカー(初級) [球技Ⅰ・ゴール型]	基本練習 連携プレー ゲーム練習 実技試験	個人的技能および集団的技能の習得を目指し、チームの課題や自己の能力に応じた課題の解決を目指して、計画的な練習の仕方やゲームの仕方を工夫することができるようにする。	9 ～ 11	種目ごと実技試験	○	○	○
		ソフトボール(初級) [球技Ⅱ・ベース型]					○	○	○
		テニス(初級) [球技Ⅲ・ネット型]			○		○	○	
	バレーボール(初級) [球技Ⅲ・ネット型]	基本練習 連携プレー ゲーム練習 実技試験	個人的技能および集団的技能の習得を目指し、チームの課題や自己の能力に応じた課題の解決を目指して、計画的な練習の仕方やゲームの仕方を工夫することができるようにする。	11 ～ 3	○		○	○	
	バドミントン(初級) [球技Ⅲ・ネット型]				○		○	○	
	卓球(初級) [球技Ⅲ・ネット型]				○		○	○	
	体育理論	体育編1 スポーツの発祥と発展	1.スポーツの発祥と成立	・スポーツがどのように始まり、どう発展してきたのかを理解できる。 ・スポーツが時代に応じて多様に変容してきていることを理解できる。 ・オリンピックとパラリンピックの理念を理解できる。 ・現代スポーツが、国際親善や世界平和にどのように貢献しているかを理解できる。 ・スポーツが経済に及ぼす影響について理解できる。 ・スポーツ産業における様々な職業を挙げることができる。 ・スポーツの価値や役割について理解できる。 ・スポーツの高潔性を破壊しかねない問題について理解できる。 ・スポーツと環境問題における、直接的・間接的な関わりについて理解できる。 ・持続可能なスポーツの為に、私たちができることについて考え、指摘できる。	4 ～ 3		授業内で確認テスト	○	○
2.スポーツ文化の発展と現代社会			○			○		○	
3.オリンピック・パラリンピックと国際社会			○			○		○	
4.スポーツの経済効果とスポーツ産業			○			○		○	
5.スポーツに求められる高潔さ			○			○		○	
6.持続可能性からみたスポーツと環境			○			○		○	
後期 授業評価								○	○

3.評価の観点

運動に対する(a)知識・技能(b)思考・判断・表現(c)主体的に学習に取り組む態度と、実技試験および出席状況、授業態度を見て総合的に評価する。